

同時資料提供  
大阪市政記者クラブ  
大阪科学・大学記者クラブ

平成20年5月27日  
大阪市立自然史博物館  
担当：学芸課学芸員 石田 惣(動物研究室)  
電話 06-6697-6222

## 特別展「ダーウィン展」および 多彩な関連行事開催のお知らせ

大阪市立自然史博物館では、平成20年7月19日(土)から9月21日(日)まで、長居公園内の「花と緑と自然の情報センター」2階ネイチャーホールにおいて、「**ダーウィン展**」を開催します。

自然選択による進化論を見いだしたことで世界に知られる自然史学者ダーウィン。この展覧会では、昆虫少年だったダーウィンの生い立ちから、大抜擢を受けて22歳の若さで乗り組んだ5年に及ぶビーグル号での世界航海、「種の起源」を発表するまでの苦悩の日々を示す直筆の手紙などと共に、進化論が当時の世界に与えた影響を紹介します。

会場内には、ビーグル号航海の模様を壮大なスケールで展示。そしてダーウィンが、貴重な生物の宝庫として有名なガラパゴス諸島で出会った珍しい生物を剥製や映像で紹介합니다。また、ダーウィンが実際に使用した道具などの資料も展示し、自然に対する思索に没頭したダーウィンの生涯をたどります。

また、子どもから大人まで、あらゆる年齢層の方にダーウィン展をお楽しみいただけるよう、さまざまな関連行事を開催します。ダーウィンの発見や世界航海を楽しく体験する子どもワークショップ、ダーウィンの業績や展示物を学芸員が解説するオープンセミナーやギャラリートーク、そして第一線の研究者による講演会など、多彩なイベントをご用意しています。

この展覧会は、2005年から2006年にかけてアメリカ自然史博物館(ニューヨーク)で開催され好評を博したもので、その後、ブラジルやニュージーランドでの巡回を経て、本年、アジアでは初めて日本で開催されるものです。日本では、国立科学博物館(東京・3月18日～6月22日)と当館の2か所でのみの開催となります。

なお、開催前日の**7月18日(金)午前11時から**当会場において**記者内覧会を開催します**ので、ぜひご来場ください。お越しの節は、前日までに別紙ご記入の上ファックスにてお申込ください。

このプレスリリースの内容は、当館の下記ホームページでもご覧になることができます。

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

## 1 開催概要

- (1) 名 称 「ダーウィン展」 <公式ホームページ <http://darwin2008.jp>>
- (2) 会 期 2008年7月19日(土)～9月21日(日)  
※休館日＝毎週月曜日。ただし、月曜日が祝日のときは開館。翌火曜日が休館。  
※開館時間＝9：30～17：00（入場は16：30まで）
- (3) 会 場 大阪市立自然史博物館ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）  
所在地：〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園1-23  
最寄駅：地下鉄御堂筋線長居駅から東へ約800m、JR阪和線長居駅から東へ約1 km
- (4) 主 催 大阪市立自然史博物館、読売新聞大阪本社、NHK大阪放送局
- (5) 企 画 アメリカ自然史博物館
- (6) 後 援 文部科学省、ブリティッシュ・カウンシル、大阪府、大阪府教育委員会ほか
- (7) 協 賛 岩谷産業、きんでん、清水建設、ダイワボウ情報システム、オリンパス、大日本印刷
- (8) 協 力 日本航空ほか
- (9) 入場料 大人1,200円（1,000円） 大学生1,000円（800円） 高校生600円（500円）  
※かっこ内は前売料金。30人以上の団体割引あり。  
※中学生以下、障害者手帳等持参者、大阪市内在住の65歳以上の高齢者（要証明）は無料。  
※前売券は、5月31日（土）より、チケットぴあ、ローソンチケット、CNプレイガイド、イープラス、主なコンビニエンスストアなどで発売。
- (10) 問合せ 大阪市立自然史博物館 TEL：06-6697-6221  
<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

<ダーウィン展は、日英修好通商条約調印150周年を記念したUK-Japan2008の公認イベントです。>

## 2 企画の全体構成

### (1) ダーウィン以前の世界

入口に設置されたモニターから、珍しい魚や鳥、虫、植物などの変わった動きが目に飛び込んできます。ダーウィンは、すべての生物は共通の祖先から環境に適しながら進化してきたという「進化論」を唱えました。地球上に生命が生まれてから40億年。現在、1000万種以上ともいわれる多様な生命を改めて感じさせます。

ダーウィン以前の世界は、すべての生物は神によって創造されたという考えでした。キリスト教世界では、生物が進化してきたという考えは、聖書の教えに反する禁じられた考えだったのです。ここでは、進化や適応という考えがなかった19世紀の標本展示を再現します。

### (2) 「ビーグル号」航海を再現！

ダーウィンは22歳の時から5年間、軍艦ビーグル号に乗船し、世界一周を果たします。ここでは、進化論を導き出すきっかけとなった南米ガラパゴス諸島を再現し、ダーウィンが出会ったであろうイグアナやゾウガメなどの動植物の標本や模型を展示します。また、軍艦「ビーグル号」の模型や、ダーウィンが幸運にもビーグル号に乗船できることになった経緯を示す手紙、旅先でダーウィンが使った道具類、直筆の手紙やノートの実物も展示します。

### (3) ダーウィンが魅せられた生き物たちの驚きの映像！

地球上では、様々な生き物が長い時間をかけて進化をとげた結果、驚くべき多種多様な生き物が生息しています。日本展独自の展示として、生き物の驚きの映像を、大型スクリーンでお見せします。

生き物たちの躍動感あふれる映像が続々と登場し、ダーウィンが魅せられた生き物たちの世界を体感いただけます。

### (4) ダーウィンの人生と研究の軌跡

少年時代から青年時代、ビーグル号での航海、帰国してから進化論の発表まで、家族とのかかわりなど、ダーウィンの生涯をパネルや資料、映像で多角的に紹介します。

#### ①昆虫マニアだった少年時代

ダーウィン家や、陶器メーカーとして世界的に有名なウエッジウッド家の系譜、ダーウィンが書いたメモやマンガなどを紹介します。昆虫マニアだった少年時代から大学での修行時代まで、大科学者ダーウィンの源流を探ります。

#### ②航海から帰還、ロンドン時代

ビーグル号の航海から帰国したダーウィンは、ロンドンに居をかまえ、航海で得た成果をもとに研究活動に入ります。進化論の着想を示す、種の分岐の系統樹を記した自筆のノート（複製）など、研究の軌跡がわかる資料を展示します。

#### ③「種の起源」出版、ダウ時代

1842年、ダーウィンはロンドン郊外のダウ村に移住し、生涯の拠点としました。そしてついに、1859年、「種の起源」を出版。出版までの苦悩の日々や試行錯誤した研究の軌跡を示す手紙や資料とともに、ダーウィンが過ごした書斎を再現。実際に使用していた机、椅子も再現展示します。

### (5) 進化論について

ダーウィンが導いた自然選択による進化論について、わかりやすく紹介します。様々な種の頭蓋骨や手の比較標本、馬の比較模型、アンモナイトの標本などの展示物に、解説映像を交えて展示します。また、自然選択を体感できるゲームもあります。

### 3 関連催事

#### (1) 「ダーウィン展」特別講演会

近代生物学の礎となった自然選択による進化論を提唱したダーウィン。その類いまれな生涯と功績を紹介する特別展「ダーウィン展」開催にちなみ、第一線で活躍する進化生物学者やダーウィン研究者をお招きして、ダーウィンにまつわる様々なトピックをお話いただきます。

<第1回>

日 時：7月26日（土） 午後1時30分～午後3時  
講 師：長谷川真理子氏（総合研究大学院大学教授）  
演 題：「ダーウィン以前とダーウィン以後：生物学はどのように変容したか」  
会 場：自然史博物館本館 講堂

<第2回>

日 時：8月23日（土） 午後1時30分～午後3時  
講 師：新妻昭夫氏（恵泉女学園大学教授）  
演 題：「ダーウィンとミミズと地球の歴史」  
会 場：自然史博物館本館 講堂

#### (2) 「ダーウィン展」ギャラリートーク

自然選択による進化論を提唱したダーウィンの生涯とその功績を紹介する特別展「ダーウィン展」では、ダーウィンにまつわる様々な標本や資料を展示しています。自然史博物館の学芸員がそのいくつかに焦点をあて、展示のトピックをわかりやすく解説します。夏休み中の毎週金曜日、午後3時から開催します。

日 時：7月25日（金）、8月1日（金）、8月8日（金）、8月15日（金）、8月22日（金）、8月29日（金） いずれも午後3時より15～30分程度  
場 所：自然史博物館 ネイチャーホール 特別展会場内（解説場所は当日掲示等でご案内します）

#### (3) 自然史オープンセミナー ダーウィンシリーズ

ダーウィンの行った観察や研究をとりあげ、わかりやすく解説するセミナーを3回のシリーズで開催します。

<第1回>「自然淘汰と性淘汰」講 師：石田 惣（動物研究室）

日 時：7月5日（土） 午後3時～午後4時30分 会 場：自然史博物館 集会室

<第2回>「植物の受精と繁殖様式」講 師：内貴 章世（植物研究室）

日 時：8月2日（土） 午後3時～午後4時30分 会 場：自然史博物館 集会室

<第3回>「ビーグル号の航海と魚類」講 師：波戸岡 清峰（動物研究室）

日 時：9月6日（土） 午後3時～午後4時30分 会 場：自然史博物館 集会室

#### (4) ワークショップ

7月26日～9月6日の土日、1日約30人の子どもを対象に、下記のプログラムのワークショップを開催します。

「a：ダーウィン展たんけんブック」「b：ビーグル号・びっくりレター」「ガラパゴスぬりえ」

#### (5) その他

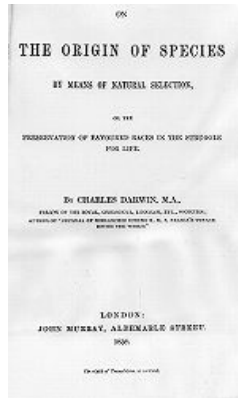
会場では、キッズマップ、高校生向けワークシートや、大阪ネイチャークイズラリーなどご用意しております。詳しい内容は、決定次第当館のホームページでお知らせいたします。

# 「ダーウィン展」

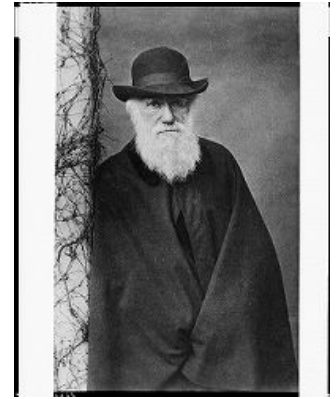
広報写真 素材見本



1.「ビーグル号」航海コーナー  
(アメリカ自然史博物館での展示風景)



2.「種の起源」表紙



3.チャールズ・ダーウィン



4.ダーウィンの書斎の再現展示  
(東京会場での展示風景)



5.イグアナ(イメージ写真)



6.タッチパネルで「進化論」自然選択  
について学ぶ子ども  
(東京会場での展示風景)



7.ダーウィンの人生と研究の軌跡に  
ついて学ぶ人々  
(東京会場での展示風景)



8.手や馬の比較模型で「進化論」  
について学ぶ子ども  
(東京会場での展示風景)

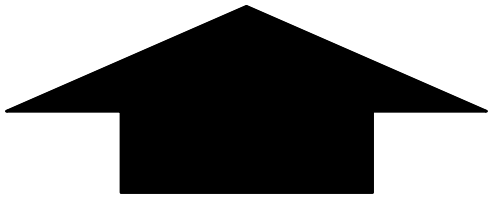


9.ガラパゴス諸島でダーウィンが会った  
動植物の標本や模型を展示  
(東京会場での展示風景)



10.ダーウィンの研究の軌跡  
について学ぶ人々  
(東京会場での展示風景)





## <FAX送信>

FAX. 06-6697-6225

送信先；大阪市立自然史博物館内  
ダーウィン展大阪実行委員会 宛  
TEL.06-6697-6221, FAX.06-6697-6225  
〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園 1-23

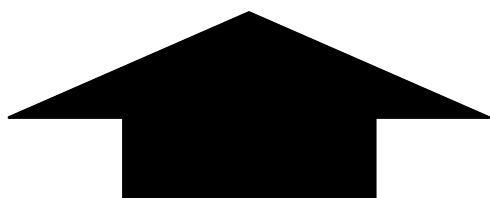
## 「ダーウィン展」

会期中、会場内における取材をご希望される方は、下記該当箇所をご記入の上、原則、ご取材の3日前までにFAXにてお送りください。なお大変恐縮ですが、撮影時間につきましては、会場の混雑状況などにより、事前に調整させていただく場合がございます。あらかじめご了承くださいませ幸いです。

またお手数ですが、掲載媒体を2部（DVD、ビデオ、カセット、MDなどは1本）お送りくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 取材申請書

貴社名	
媒体名	
所属部署／ご担当者名	
取材日	2008年 月 日 ( ) : ~ :
人数 (カメラ含む)	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. FAX. e-mail.



FAX. 06-6697-6225

## <FAX送信>

送信先；大阪市立自然史博物館内  
ダーウィン展大阪実行委員会 宛  
TEL.06-6697-6221, FAX.06-6697-6225  
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23

# 「ダーウィン展」

## 広報写真提供申請書

本展覧会の広報用写真をご用意しております。ご希望の写真に○印をつけ、下記にご記入の上、ご返信ください。

- ・写真使用は本展のご紹介のみとさせていただきます。尚、本展終了後の使用は出来ませんのでご了承ください（掲載期間：2008年9月21日まで）。写真の使用後は、データは破棄してください。
- ・掲載記事・番組内容については、基本情報確認のため、ゲラ刷り・原稿の段階で広報事務局までFAXまたはメールをお送りください。また、ご掲載いただいた場合は、お手数ですが、掲載紙・誌または同録ビデオを広報事務局宛に1部お送り下さい。

No	写真名	ご希望に○
1	「ビーグル号」航海コーナー(アメリカ自然史博物館での展示風景)	
2	「種の起源」表紙	
3	チャールズ・ダーウィン	
4	ダーウィンの書斎の再現展示(東京会場での展示風景)	
5	イグアナ(イメージ写真)	
6	タッチパネルで「進化論」自然選択について学ぶ子ども(東京会場での展示風景)	
7	ダーウィンの人生と研究の軌跡について学ぶ人々(東京会場での展示風景)	
8	手や馬の比較標本で「進化論」について学ぶ子ども(東京会場での展示風景)	
9	ガラパゴス諸島でダーウィンが出会った動植物の標本や模型を展示(東京会場での展示風景)	
10	ダーウィンの研究の軌跡について学ぶ人々(東京会場での展示風景)	

貴社名	
媒体名	
掲載・放送予定日	
所属部署／ご担当者名	
ご住所	〒
ご連絡先	TEL. _____ FAX. _____ e-mail. _____